

# 山村振興計画書

七戸町

# 目 次

<b>I. 地域の概況</b>	
1 地理・地勢	・・・ 1
2 気象	・・・ 1
3 人口の動向・産業構造社会	・・・ 1
4 土地利用の状況	・・・ 2
5 財政状況	・・・ 2
<b>II. 現状と課題</b>	・・・ 3
<b>III. 振興の基本方針</b>	
1 現状及び基本的な方針	・・・ 4
<b>IV. 振興施策</b>	
1 交通施策	・・・ 5
2 情報通信施策	・・・ 6
3 産業基盤施策	・・・ 6
4 経営近代化施策	・・・ 7
5 文教施策	・・・ 8
6 社会、生活環境施策	・・・ 8
8 国土保全施策	・・・ 11
9 交流施策	・・・ 11
10 森林、農用地等の保全施策	・・・ 12
13 その他施策	・・・ 12
<b>V. 他の地域振興等に関する計画、施策等との関連</b>	・・・ 13
<b>○ 参考資料</b>	・・・ 14

## 山村振興計画書

都道府県名	市町村名	作成年度 (変更年度)
青森県	七戸町	平成17年度 (平成21年度)
振興山村名 (旧市町村名)	七戸町	
指定番号	第946号	

### I. 地域の概況

#### 1 地理・地勢

本地域は、青森県の南東部に位置し、恵まれた自然環境にあります。地域の総面積は134.64km<sup>2</sup>におよび、東に延びる丘陵は起伏に富みますが、その大半が国有林野、国営牧場などの国有地で占められています。集落は山あいを開けた平坦地や河川流域に散在し、市街地は町の東部に位置しています。主要河川の全ては八甲田山系八幡岳に源を発し、丘陵間を東流して倉岡川、作田川、和田川、大林川などを形成しています。中央部を貫流する高瀬川（七戸川）は、作田川と和田川を集め、市街地南部を流れて、小川原湖に注いでいます。耕地は、これらの河川流域に水田、丘陵地に畑、草地が開かれています。地質は、沖積泥炭地が分布し火山灰土壌が多く、耕地のほとんどは植壤土で酸性度の強い土壌です。

#### 2 気象

一年を通じて気象の変化が激しく、なかでも6月、7月には霧雨を伴った偏東風（ヤマセ）のため気温の低い状態が続き、11月から4月にかけては、北西の強い季節風が吹き、曇天降雪の日が多く極めて寒さが厳しいのが特徴です。

平均気温は、約10℃前後で、降水量は1,500mm程度です。

また、降雪量は地域によりばらつきがあり、平坦地で40cm～1m前後、山沿いは2m近くの積雪となる豪雪地帯でもあります。

#### 3 人口の動向・産業構造社会

平成7年から平成12年までの5年間で910人（7.9%）の減少とな

っており、依然新規学卒者を中心とした若年層の人口流出が見られ、その反面65歳以上の高齢者人口比率が23.6%とかなり増加しています。

地域の基幹産業である農業は、主要作物の米、ながいも、にんにく、トマトと畜産や林業を取り入れた複合経営となっていますが、近年の冷災害や価格の低迷等厳しい状況におかれ、加えて担い手の高齢化、若年農業者の減少は地域農業の脆弱化に拍車をかけています。

これらが購買力の減少をもたらす商業にも大きな影響を与えていることから、一人あたりの個人所得は県平均よりかなり低い経済水準にあります。

#### 4 土地利用の状況

本地域は総面積13,464haで、その67%にあたる9,009haが国有林を含めた森林、原野、その他となっています。

農用地は、総面積の24%にあたる3,232ha、宅地は300haとなっており、平成12年において農家1戸当たりの農地面積が約3.2haですが、遊休化等により土地利用は極めて低い状態になっています。

#### 5 財政状況

平成15年度の普通会計の決算は、歳入が前年度より9.3%の減の51億4617万9千円で、歳出が前年度より8.7%減の51億2842万8千円となっており、これを平成12年と比較すると歳入23.0%、歳出21.9%の大幅減となっています。

歳入構造をみると、地方交付税48.2%、国庫及び県支出金が12.5%、町債11.9%を含む依存財源が77.8%を占めています。町税（構成比13.7%）を含む自主財源が22.2%しかなく相変わらず他への依存が高く、歳出構造では、義務的経費が歳出の45.7%を占め、目的別の構成比をみると農林水産費5.8%、民生費21.1%、公債費が17.5%、総務費12.4%、土木費7.4%、教育費9.8%、その他26.0%となっています。

平成15年度の実質収支は、17,626千円財政力指数0.247、公債費負担比率21.4%となっており平成12年と比較すると財政力指数では微増し、公債費負担率では6.9ポイント上がっており、財政の硬直化傾向を示しています。

## Ⅱ. 現状と課題

本地域は、昭和46年に第一期対策、昭和53年に第二期対策、昭和59年に第三期対策、平成6年には新山村振興対策（第四期対策）に係る山村振興計画を策定し、さらに第五期対策として交通網や生産基盤の整備を中心に農業近代政策、文教施策、社会生活環境施策、観光施設、国土保全施策等を積極的に推進し、地域の活性化を図ってきました。

特に、それまで他地域と比較して低い水準にあった道路や水田ほ場整備、農地造成による耕地の確保など生産基盤の整備をはじめとして、青果物低温貯蔵施設による農産物の品質管理、付加価値の向上が図られてきました。さらには地域住民の集会の場となる農村環境改善センター、文化・観光の情報発信基地として「七戸町文化村」のほか、国土保全施設等の整備など地域振興にとって大きな成果があったと高く評価されています。

しかしながら、住民の所得水準は他地域と比較して低位にあり、道路、産業基盤施設、経営近代化施設、社会生活環境施設、国土保全施設等の整備もいまだ充分とはいえ、観光関連施設整備の充実も今後の課題となっています。

### Ⅲ. 振興の基本方針

#### 1 現状及び基本的な方針

本地域は青森県の東南部に位置し、八甲田山の東山麓に開けた丘陵地の多い里山型の山村です。総面積134.64km<sup>2</sup>のうち耕地面積は14.28km<sup>2</sup>と総面積の10.6%しかなく、土地利用は極めて低い状況にあります。

また、県南の中心都市である八戸市まで車で60分の距離にあるほか、十和田市と隣接するなど地理的条件には恵まれています。

人口動向は、平成7年から平成12年までの5年間で910人(7.9%)の減少となっており、依然新規学卒者を中心とした若年層の人口流出がみられ、その反面65歳以上の高齢者人口比率(23.6%)が増加しています。

地域の基幹産業である農業は、米などの主要作物と畜産や林業を取り入れた複合経営となっていますが、近年の冷災害や価格の低迷等厳しい状況におかれ、加えて担い手の高齢化、若年農業者の減少は地域農業の脆弱化に拍車をかけています。

また、これが購買力の減少をもたらし商業にも大きな影響を与えていることから、一人当たりの個人所得は、県平均の85.4%と低位にあります。

本地域の振興方向は、所得の増大を図るための産業の生産基盤整備、観光の振興とゆとりある快適な生活環境づくりを推進し、若者が進んで定着する魅力ある豊かな山村社会を目指します。

このため、道路網の整備等により生活の利便性の向上を図るとともに、農林業生産基盤及び経営近代化施設の整備により農林家所得の向上を図ります。

また恵まれた自然環境を生かした観光開発、企業誘致の推進により就業機会の増大等に努めるほか、総合的な産業の振興及び就業機会の創出による地域の活性化を図ります。

本地域は、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全等重要な公益的役割を担っていることから、各種施策の実施にあたっては、開発と保全の調和を十分に図るとともに、交流の場としての山村の役割をさらに充実させ、魅力的で定住できる豊かな山村の実現を目指します。

これらを達成するための重点振興施策は次のとおりとします。

1. 産業の生産基盤及び経営近代化施設の整備
2. 道路網の整備
3. 社会生活環境の整備
4. 観光施設の整備

## IV. 振興施策

### 1 交通施策

#### (1) 必要となる施策

本地域は、青森市と県南地方を結ぶ大動脈のみちのく有料道路と国道4号に交わる交通の要衝であり、この国道4号を南北の軸にむつ小川原開発地域を結ぶ国道394号、主要地方道八戸野辺地線及び三沢七戸線を始めとし一般県道5路線が走っています。これらの路線を骨格とし町道が連結され幹線道路網が形成されているが、バイパス等の整備が望まれています。

#### (2) 具体的な取組み

町道は367路線、総延長282.1kmあり、そのうち1級町道12路線、2級町道35路線をなし、町内主要集落への連絡道として配置され総延長は96.8kmとなっています。

その整備状況は、改良率72.5%、舗装率79.3%となっています。

しかしながら、幹線以外の町道の改良率22.4%、舗装率29.1%と未整備の生活道路が多く、地域発展の障害となっているため、産業振興等のためにも、きめこまかな道路網の整備拡充を図る必要があります。さらに東北縦貫自動車道八戸線、東北新幹線七戸（仮称）駅等への広域的視点にたったアクセス道路を整備していきます。

生活交通の確保として

#### ア 生活バス対策

本地域の公共交通機関は、平成14年8月に南部縦貫鉄道が廃止されたことにより路線バスのみとなったが、マイカーの普及や人口の減少により年々乗降客数の減少傾向が続いています。

また、路線バス運行経路の縮小による空白区域を解消するため、平成14年からコミュニティバスを運行しています。

#### イ 鉄道対策

東北新幹線青森駅、八戸駅の間駅として指定された東北新幹線七戸（仮称）駅の開業が平成22年と目前に迫っており、広域的なアクセスを充分考慮し、将来的な発展動向を展望した道路網のあり方について検討します。

#### ウ 冬期間の交通対策

ロータリー車の更新及び歩道除雪のための小型ロータリー車を購入し除雪体制の強化を図ったが、急激に進む人口の少子高齢化を鑑み、さらに防雪棚の設置や住民参加の雪対策の確立など新しい方策も考えていきます。

## 2 情報通信施策

### (1) 必要となる施策

現在防災無線の活用により住民への情報提供を行っていますが、情報化の進展とともに公共的分野の情報化を推進し、情報通信技術を利用した産業経済活動の支援環境整備に努める必要があります。

### (2) 具体的な取組み

情報化に対する住民の意識高揚、情報利活用能力の向上を図るための人材育成を図り、情報通信ネットワーク等の活用、改修等を推進します。

行政事務の効率化を図るため、行政情報化を一層推進するとともに、情報ネットワークを利用し、住民のさまざまなニーズに対応した行政情報の公開に努めます。

## 3 産業基盤施策

### (1) 必要となる施策

本地域における産業構造については、農林水産業を中心とした第1次産業から新たな産業分野を含む第2次、第3次産業への移行が進んでいます。

さらに、農業就業人口の減少と併せて農業従事者の高齢化の進行が経営規模拡大による合理化の遅れ等につながり、構造問題が深刻化しています。

しかしながら、振興山村における農林業は主要な産業として地域の人々の生活を支えており、農林産物の供給はもとより森林や農業生産基盤である農地を活用することで、それらが持っている多面的機能を維持する役割も果たしています。

このため振興山村では、地域の人々の生活を守るとともに、水源のかん養や国土の保全などの多面的機能を維持し、町全体の生活を守ることをはじめ、自然環境を保護していくためにも農林業の振興を図り、計画的な基盤整備を推進する必要があります。

### (2) 具体的な取組み

農道は、42.9kmありますが、ほ場整備の進展とともに、ふるさと農道緊急整備事業等により整備が進んできました。

しかし、ほ場整備が進んでいない地域及び畑作地帯は未整備路線あるいは老朽路線がみられ、大型機械等の搬入に支障がでているため、土地基盤整備と併せ農道整備を図っていく必要があります。

林道については、ほとんどが国管理路線であるため利用率も高く、比較的整備されていますが、町等が管理している路線は整備が遅れている状態にあり、林業近代化を図るためにも新設整備を進めていかなければなりません。

また、地域の特性を生かした高付加価値・高収益型農業を確立するために、農林業の振興に必要な生産基盤及び近代化施策等の整備を行います。

高速交通体系の整備等流通圏の拡大に伴い、激化する産地間競争に耐え得る出荷体制を確立し販売の有利性を確保するため、予冷、冷蔵施設の拡充と効率的利用、流通経費を低減するための農産物直売所の整備拡充、伝達機能強化、農協系統の流通機能充実等、販売体制の整備確立を図ります。

#### 4 経営近代化施策

##### (1) 必要となる施策

輸入農畜産物の増加と価格の低迷、本地域の特産物であるにんにく、ながいもの連作障害の発生や天候不良による災害の発生及び外国産のにんにくの国内流入等、町の農業は一段と厳しい局面にあります。

このような状況のなかでの農林業振興を図るためには、将来の農業担い手の確保、作業の集団化、農地の団地化、流動化によるコスト低減、出荷時期の調整、有機栽培や農薬を節減した栽培等による付加価値の高い農産物の生産、販売促進のための市場開拓が不可欠な問題となっています。

##### (2) 具体的な取組み

###### ア 農業における経営体の基盤強化

(ア) 農業経営の安定化に向け、担い手への農地の利用集積等の推進や機械施設の共同利用等によるコスト低減を図ります。

また、地域の特性を生かした高付加価値型農業を推進するとともに、経営体の経営改善や生産活動の活性化のため、ニーズに応じた融資を行い、認定農業者の育成など経営体の経営基盤強化を図ります。

###### (イ) 生産技術及び流通情報の提供

高度な流通・販売活動や需用に応じた生産が行えるよう、情報技術の進展を踏まえ、県・市町村・関係団体においては、インターネット等を活用した農業に関する技術情報や流通情報等の提供に努めます。

###### イ 林業経営の活性化

###### (ア) 林業経営の経営基盤強化

林業経営に意欲のある森林所有者の森林取得を支援し、経営規模の拡大による効率的な林業生産活動を促進します。

また、零細な森林所有者については、森林整備や林業生産活動の共同化、森林組合等への長期的な施業・経営の委託を促進します。

#### 5 文教施策

##### (1) 必要となる施策

振興山村においては、過疎化による人口減少や少子化の傾向により、児童生徒が減少しています。

このような状況の中、教育の重要性は一段と増しており、一人ひとりの児童生徒の個性や能力に応じた意欲的で主体的な学習態度の育成や、地域との関わりを重視した教育諸条件の整備・改善が求められています。

このため、山村地域という不利性から教育を受ける条件について、他の地域との格差が生じることのないよう教育環境を整理する必要があります。

さらに、山村地域の特性を生かした教育に取り組むとともに、教育施設の有効利用を推進する必要があります。

## (2) 具体的な取組み

ア 学校教育の充実を図るため老朽校舎の改築とスクールバスの更新を行います。

イ 社会教育の充実を図るため、生涯学習施設の建設及び武道館、海洋センターの改修を行うとともに、文化遺産の確保に努めます。

## 6 社会、生活環境施策

### (1) 必要となる施策

#### ア 水道施設

本地域の水道事業は昭和44年に完成し平成16年3月末現在の普及率は97.0%となっています。生活様式の都市化に伴う、給水量の増加に対し安全で安定した給水を供給するため施設整備を進めてきましたが、供用開始後数年が経過しているため老朽配水管の布設替、水洗化普及に伴う給水量の増加に対応するため取水施設を拡充し、安全で安定した給水体制の確保に努める必要があります。

#### イ 下水処理施設

本地域の下水道事業は、高瀬川水域流域別下水道整備総合計画において、閉鎖性水域である小川原湖の水質保全を図る「高瀬川ブロック」として、早期に下水道設備が必要な地域として位置付けられています。

また、住民の生活水準の向上や経済活動の拡大により、家庭排水の著しい増加に伴い、早期の整備が必要となっています。

#### ウ 町営住宅

本地域の町営住宅は、昭和45年以前に建設された住宅が耐用年数を超えており、今後更新していかなければならない現状にあります。

#### エ 児童福祉（城北児童館）

七戸小学校の特に低学年の多くの児童が利用している施設ですが、老朽化が激しく早急に改修整備しなければならない時期にきています。

少子化対策事業の一つとしても、児童が安全で安心して過ごせるよう努めなければなりません。

#### オ 消防・救急体制

常備消防、救急医療体制は中部上北広域事業組合の運営のもと消防力の強化及び救急業務の共同処理を行っています。

非常備消防にあっては、常備消防を補完するものとして組織しています。

#### カ 高齢者等の保健及び福祉の増進

##### (ア) 高齢者福祉

本地域の高齢人口は年々著しい増加をみせています。

平成12年の国勢調査で総人口に占める割合が、23.6%となっており、さらにこの現象は今後も続くものと推計され、平成19年には総人口に対して28.5%程度と予測されています。

高齢者の増加は要介護者の増加につながり、その対策として平成12年度から介護制度の施行に伴い、介護保険事業計画及び老人福祉計画を策定し介護保険事業を実施していますが、要介護認定者は介護保険サービスを利用することができます。

非該当の認定を受けた高齢者が、希望する介護サービス・在宅福祉サービスを利用できないこともあります。さらに、3年ごとに見直される介護保険料が高額であるため、保険料の未納者も増加傾向にあります。

本地域では、これまでに老人福祉センターや保健センターの整備、老人生きがい対策事業、デイサービス事業、ホームヘルパーの派遣等積極的に推進し充実を図ってきましたが、さらに住民誰もが安心して老後を迎えることができる町づくりを推進し、みんなで支えあう心豊かな福祉社会の実現を目指すため、施設福祉、在宅福祉の一層の充実が求められています。

##### (イ) 障害者福祉

障害者福祉施策として、平成15年に施行された支援費制度により、福祉施設及び在宅の障害者福祉サービスの利用を利用者自身が選択することが可能となり、高齢者福祉対策との有機的な関連のもとにその対策にあたっています。

また、障害者の中には就労希望をもつ者も少なくなく就労場所の確保等についての対策及び健常者とのふれあい、交流機会の創出が望まれています。

##### (ウ) 出稼労働対策

本地域の出稼ぎは、近年の農家所得の低迷により生活費捻出のため、主に農閑期を中心に行われており、短期間の高賃金職種に労働するものも多く、出稼ぎ先での事故等も発生していることから安全で明るい出稼ぎの呼びかけとともに、出稼ぎ解消のための方策も必要です。

また、季節型から通年型への移行が多く、人口減少の一因ともなっています。

## (2) 具体的な取組み

### ア 水道施設

安定した給水体制を図るため、水源設備改善や老朽化した施設の整備を進めるとともに、増大する給水量に対応するために施設の整備を行います。

### イ 下水処理施設

中部上北2町による共同化事業（船団方式）の導入による公共下水道事業は、平成14年度に一部供用を開始しており、平成27年度に全体計画が終わる予定です。

しかし、それでも全体の普及率は69.9%にとどまることから、町内に散在する集落については、その状況に応じて合併浄化槽の設置等により整備を進めていきます。

水質環境保全のため、住民対象の講習会や説明会を開催し、意識の高揚を高めます。

### ウ 町営住宅

第8期住宅建設5ヵ年計画に基づき、老朽化した住宅の建替えについて引き続き整理します。後継者、Uターン者、転入者等に対応した住宅環境の整備に努め、若年層の定住化を推進します。

### エ 児童福祉（城北児童館）

老朽化した児童福祉施設（城北児童館）の早急な改修整備を行います。

### オ 消防・救急体制

常備消防については、消防力の増強、救急業務の強化等、広域体制で対応するとともに合理的な運営を図ります。また、隣接市町村及び県内市町村の相互応援体制の強化も併せて図ります。

非常備消防については、老朽化したポンプ車の更新を図るとともに、併せて屯所の整備も進めていきます。

### カ 高齢者等の保健及び福祉の増進

(ア) 高齢者のうち、介護を必要とするものについては介護保険制度により対応しています。また介護保健サービスについては、多様化している利用者の要望に対応していきます。

老人の孤立化の防止と地域社会の交流を進めることにより、老人クラブへの加入促進及び内容の充実を図り、共通の趣味や娯楽を媒体とした交流の輪を広げていきます。

一人暮らし老人等に対し、保健師やホームヘルパーの派遣、老人デイサービス事業、外出支援サービス等在宅福祉サービスの充実に努めます。

高齢者の教養を高めるため寿大学・柏葉大学の講義内容の充実と受講生の増加に努めるとともに交通手段確保のため、福祉バス、町民バス、コミュニティバスの適切な更新を図ります。

介護保険の施行及び高齢者人口の増加に伴い、保健・福祉・医療の連携が求められ、現在の施設では対応が困難になってきていることから、保健センター、老人福祉センターの連携を強化し利用者の利便性を図ります。

(イ) 支援制度を利用しながら、在宅福祉の充実強化を各関係機関、団体に働きかけるとともに、障害者の就労、交流等、社会参加の場の整備、拡充を図ります。

また、障害者の高齢化に対し、高齢者福祉との有機的関連を推進強化し、障害者福祉の総合的な充実を図ります。

(ウ) 県の出稼ぎ協会や、町の出稼ぎ組合への加入促進を図り、併せて就労前の健康診断の励行を推進します。

また、就労先の調査や出稼ぎ相談員の活用を図り、安全で高収入につながる出稼ぎを推進します。

## 8 国土保全施策

### (1) 必要となる施策

本地域は、国土保全、水源のかん養、自然環境の保全等貴重な広域的役割を担っていることから、政策の実施にあたっては、開発と保全の調和を十分に図ります。

### (2) 具体的な取組み

急傾斜地崩壊対策施設等の整備を行います。

## 9 交流施策

### (1) 必要となる施策

本地域には、雄大かつ豊かな自然を有する八甲田山系をはじめ、天間ダム、和田ダム、小坪川溪流などの資源はありますが、町外からの観光客を誘致するまでに至っていません。

しかし、国の史跡指定を受けている七戸城跡、天王神社のつつじ等観光要素は内在しています。これらを整備することにより観光の拠点づくりは可能であると考えられます。

祭りについても、本地域に永く伝わる七戸秋まつり、ベゴッコまつり等があり、今後これらのイベントを広域的なものにし地域の活性化を図る必要があります。

## (2) 具体的な取組み

町内に存在する七戸城跡を有効に活用するため、環境保全に配慮しつつ年次計画をもって整備を図り、観光学習体験等の場として広く開放し、また「一里塚」「奥州街道」「追分石」「上道・下道」等本町にゆかりの道を整備し、あわせて広域観光ルートを整備していきます。

町特有のイベントを広くPRし観光客の集客を図り、地域振興と郷土愛の醸成を推進します。

町営スキー場については、設備の老朽化に対応するために平成15年から計画的に整備してきましたが、今後も引き続き検討していきます。

## 10 森林、農用地等の保全施策

### (1) 必要となる施策

本地域は、傾斜地の多い立地特性から、農業生産活動等を通じ国土保全、水源のかん養、良好な景観形成等の多面的機能を発揮しています。

しかしながら、担い手の高齢化、減少等により耕作放棄が増加することにより国土の保全、水源のかん養等の多面的機能の低下が特に懸念されているところです。

### (2) 具体的な取組み

耕作放棄の発生を防止し、多面的機能の確保を図る観点から、農業生産条件不利を補正する中山間地域等直接支払交付金制度を活用します。

当該交付金により、適正な農業生産活動等が維持され洪水や土砂崩壊の防止、定住条件の向上等を通じ交付金の対象地域の経済活動や生活環境等が改善されるとともに、当該地域以外の地域住民に対しても、水源のかん養、保健休養等の多面的機能が及ぶものと期待されます。

## 13 その他施策

東北新幹線の開業予定が平成22年と目前に迫っており、広域的なアクセスを十分に考慮し、将来的な発展動向を展望した道路網のありかたについて検討し、周辺整備を進めていきます。

## V. 他の地域振興等に関する計画、施策等との関連

本地域は、振興山村の指定の他、豪雪地帯対策特別措置法に基づく豪雪地帯、平成17年3月31日に旧天間林村との合併により過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域に指定されており、過疎地域自立促進計画（計画期間平成17年～平成21年度まで）が平成17年に策定されています。

このため、地域振興施策の実施にあたっては、山村振興計画の基本方針（地域資源を活用した産業の展開）の趣旨を踏まえ、地域資源を活用した多様な産業の展開や就業機会の確保等に努めるものとします。

また、七戸町は、平成18年に七戸町長期総合計画（計画期間平成18年～平成27年まで）を作成し、今後の地域づくりの指針を明らかにし、当該指針を踏まえ、各種施策を展開することとします。

## 参 考 資 料

都 道 府 県 名	市 町 村 名	作 成 年 度 (変更年度)
青 森 県	七 戸 町	平 成 1 7 年 度 (平成 2 1 年度)
振 興 山 村 名 (旧市町村名)	七 戸 町	
指 定 番 号	第 9 4 6 号	

### I. 振興事業の概算事業量及び概算事業費

施策区分	事 業 名 (施設名)	事 業 主体名	概算事業量	概算事業費 千円	備 考
1. 交通施策	①町道改築 宇道坂. 五十貫田線 (第2期工事)	町	L = 1300m W = 2.5m	115,000	実施中
	②町道改築 森ノ上・荒熊内線	町	L = 3000m W = 6.0m	605,000	
	③町道改築 城ノ後. 野統線	町	L = 30.5m W = 7.0m	17,000	
	④町道改築 野統. 宇道坂線	町	L = 1,190m W = 5.0m	65,000	
	⑤町道改築 舘野4号線	町	L = 170m W = 4.5m	8,800	
	⑥町道改築 倉越1号線	町	L = 160m W = 4.0m	8,300	
	⑦町道改築 宇道坂. 五十貫田線 (第3期工事)	町	L = 1,100m W = 6.0m	113,000	
	⑧町道改築 七戸変電所. 東栄団地線	町	L = 100m W = 4.0m	5,200	
	⑨町道改築 夏焼. 道地線	町	L = 100m W = 5.0m	5,800	
	⑩町道改築 一ノ森1号線	町	L = 270m W = 4.0m	12,000	
	⑪町道改築 作田橋. 作田線	町	L = 160m W = 4.0m	8,000	
	⑫町道改築 上川目5号線	町	L = 115m W = 5.0m	6,500	
	⑬橋りょう 昭和橋	町	L = 39m W = 9.5m	101,050	実施中
	⑭橋りょう 作田橋	町	L = 34m W = 5.5m	25,000	
	⑮橋りょう 和田下橋	町	L = 50.4m W = 5.5m	7,000	
	⑯その他 側溝整備事業	町	L = 370m	32,000	

施策区分	事業名 (施設名)	事業 主体名	概算事業量	概算事業費 千円	備 考
	⑰除雪機械整備事業	町	散布車3t 1台 ロータリー 200ps 1台 除雪ローザ 11t 2台	100,552	
	小 計			1,235,202	
2. 情報通信 施策	⑱農地等情報システムネットワーク管理 システム導入事業	町		23,000	
	⑲ICカード標準システム導入事業	町		41,434	
	小 計			64,434	
3. 産業基盤 施策	⑳ふるさと農道緊急整備事業 (川去地区)	町	L=1,500m W=5.0m	56,500	
	㉑ふるさと農道緊急整備事業 (放森地区)	町	L=1,700m W=5.0m	64,200	
	㉒ふるさと農道緊急整備事業 (犹花地区)	町	L=1,900m W=5.0m	70,600	
	㉓ふるさと農道緊急整備事業 (向田・横長根地区)	町	L=2,200m W=5.0m	217,800	
	㉔県営萩ノ沢地区溜池等整備事業	県		10,956	実施中
	㉕資源環境循環林及び水土保持全林整備 事業(除伐、間伐)	森林組合		3,075	保 全 実施中
	小 計			423,131	
4. 経営近代化 施策	㉖あおり施設農業拡大対策事業 (パイプハウス導入整備)	J A		15,000	実施中
	㉗農業施設整備事業 (育苗ハウス整備)	J A		5,000	
	㉘肥育製造施設整備事業	J A		12,500	
	㉙競争力強化生産総合対策事業 (果菜選果機整備)	J A		100,000	
	㉚優良繁殖牛導入促進事業	J A 畜産組合		10,000	実施中
	㉛あおり園芸特産産地育成強化事業 (長芋催芽機整備)	J A		1,950	実施中
	㉜農業生産総合対策事業 産業用無人ヘリコプター整備	町 J A		13,000	
	㉝農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 事業(地域資産活用交流促進施設)	町	農 林 水 産 物 直 売・食材提供供給 施設1棟、施設P R活動	321,005	
	小 計			478,455	

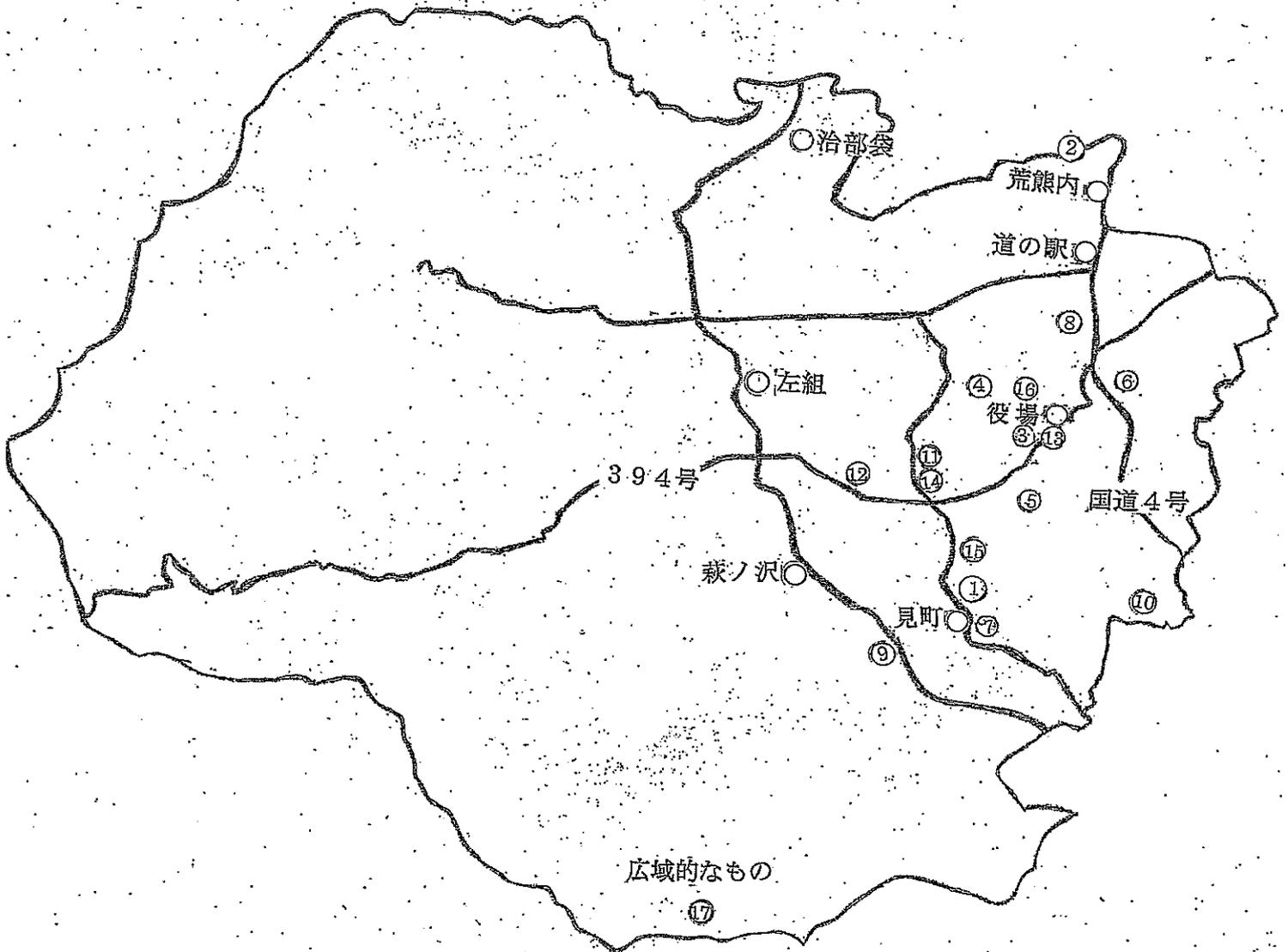
施策区分	事業名 (施設名)	事業 主体名	概算事業量	概算事業費 千円	備 考
5. 文教施策	㊸学校教育関連施設 旧野々上小中学校改修工事調査業務	町		1,000	
	㊹七戸小学校校舎改築事業 (屋根、外壁、床、壁、天井)	町		382,149	実施中
	㊺七戸中学校防音機能復旧事業	町		64,000	
	㊻七戸小学校屋内運動場改築事業 (屋根、外壁、床、壁、天井)	町		382,149	
	㊼スクールバス購入事業 (七戸中学校) (七戸小学校)	町		27,000	
	㊽七戸小学校屋外プール解体事業	町		8,000	
	㊾国際交流事業 (小学生)	町		5,000	実施中
	㊿生涯学習施設建設事業 鉄筋コンクリート2階建て	町	A=2,035m	740,000	
	①町立体育館改修工事 (屋根、外壁、床、天井)	町		25,489	実施中
	②武道館屋根補修工事 (屋根全面塗装)	町		2,173	
	③B&G海洋センタープール塗装工事	町		3,675	
	④史跡七戸城跡総合整備活用推進事業	町		410,000	実施中
	⑤史跡七戸城跡用地購入事業	町		230,000	実施中
	⑥鷹山宇一記念美術館増改築事業 実施設計委託	町		8,307	
小 計				2,288,942	
6. 社会、生活 環境施策	⑦水道施設上水道整備事業	町		300,000	
	⑧老朽菅更新事業	町		296,441	実施中
	⑨公共下水道事業	町		10,229,845	実施中
	⑩排水路整備事業 (穴田筋排水路)	町	L=800m	80,000	
	⑪合併浄化槽設置補助金	町	6~7人槽 250基	99,195	実施中
	⑫消防団屯所建設事業	町	木造平屋建 70㎡	5,000	
	⑬公営住宅建設	町	蛇坂 48戸	597,200	
	⑭テニスコート改修工事(照明灯新設)	町		30,000	
	⑮城北児童館耐震診断業務委託	町		1,900	
	⑯城北児童館改修整備事業	町		16,000	
	小 計				11,655,581

施策区分	事業名 (施設名)	事業 主体名	概算事業量	概算事業費 千円	備 考
8. 国土保全 施策	㊦急傾斜地崩壊対策事業 (野続地区)	県		20,000	保 全 実施中
	㊧急傾斜地崩壊対策事業 (天神林地区)	県		80,000	保 全 実施中
	㊨中山間地域等直接支払交付金 沼ノ沢・野左掛・野左掛山・寺下	町	527,549 m <sup>2</sup>	54,020	保 全 実施中
	小 計			154,020	
9. 交流施策	㊩町営スキー場ヒュッテ建設事業	町	A=264 m <sup>2</sup>	59,193	実施中
	㊪活力ある町づくり整備事業用地 購入及び蔵改修	町		124,000	
	㊫蛇坂地区緑地広場整備事業	町	A=30,705 m <sup>2</sup>	124,842	
	㊬産業文化まつり	町		15,000	実施中
	㊭べごっこ祭り	町		11,930	実施中
	小 計			334,965	
10. 森林、農用 地等の保全 施策	小 計 (再掲)			(157,095)	
13. その他施策	㊮新幹線七戸駅 (仮称) 周辺整備	町		4,442,016	実施中
	㊯都市計画策定事業	町		45,000	
	小 計			4,487,016	
合 計				21,121,746	

## II. 振興事業説明図

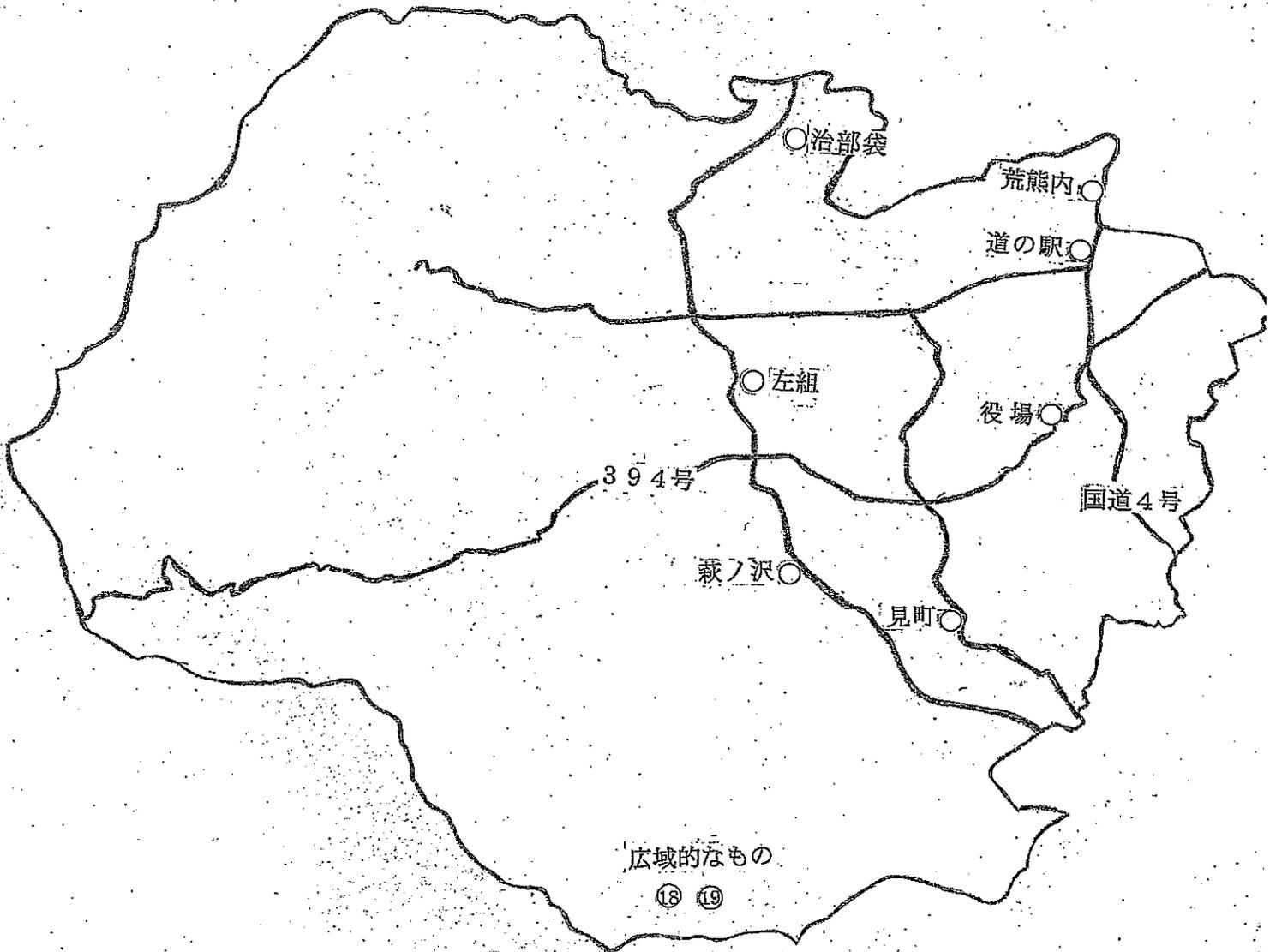
### (1. 交通施策)

4



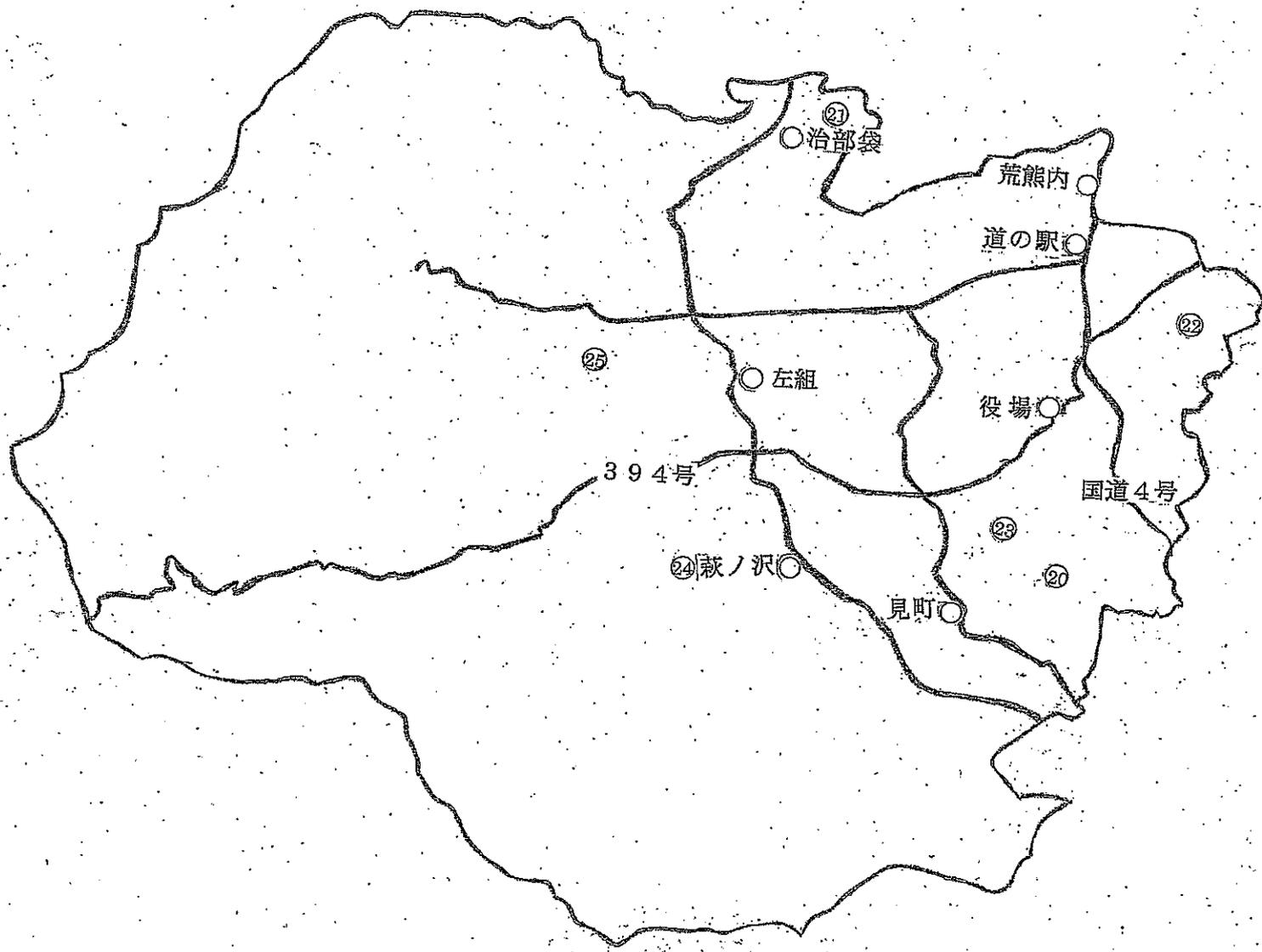
## II. 振興事業説明図

### (2. 情報通信施策)

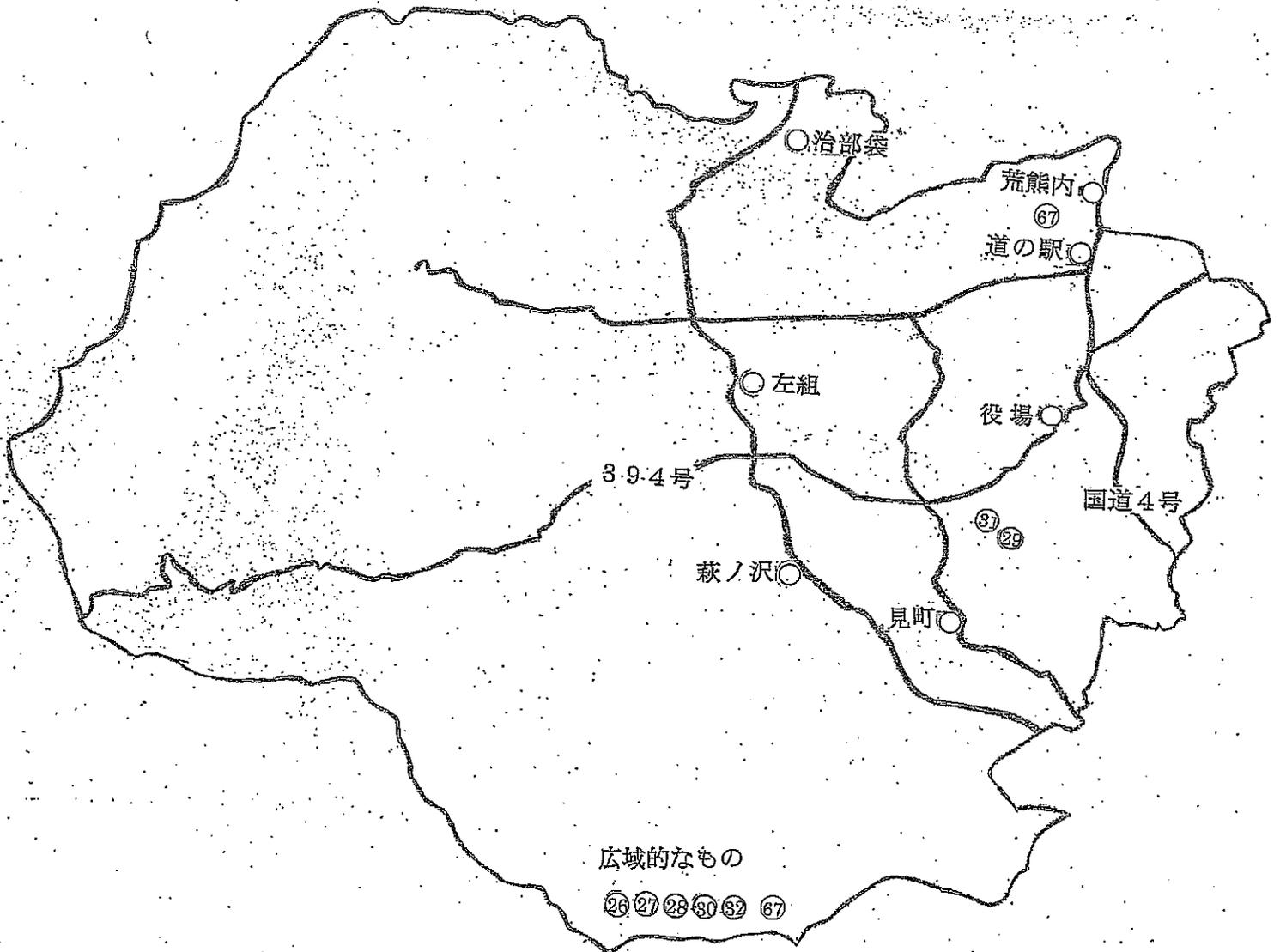


## II. 振興事業説明図

### (3. 産業基盤施策)

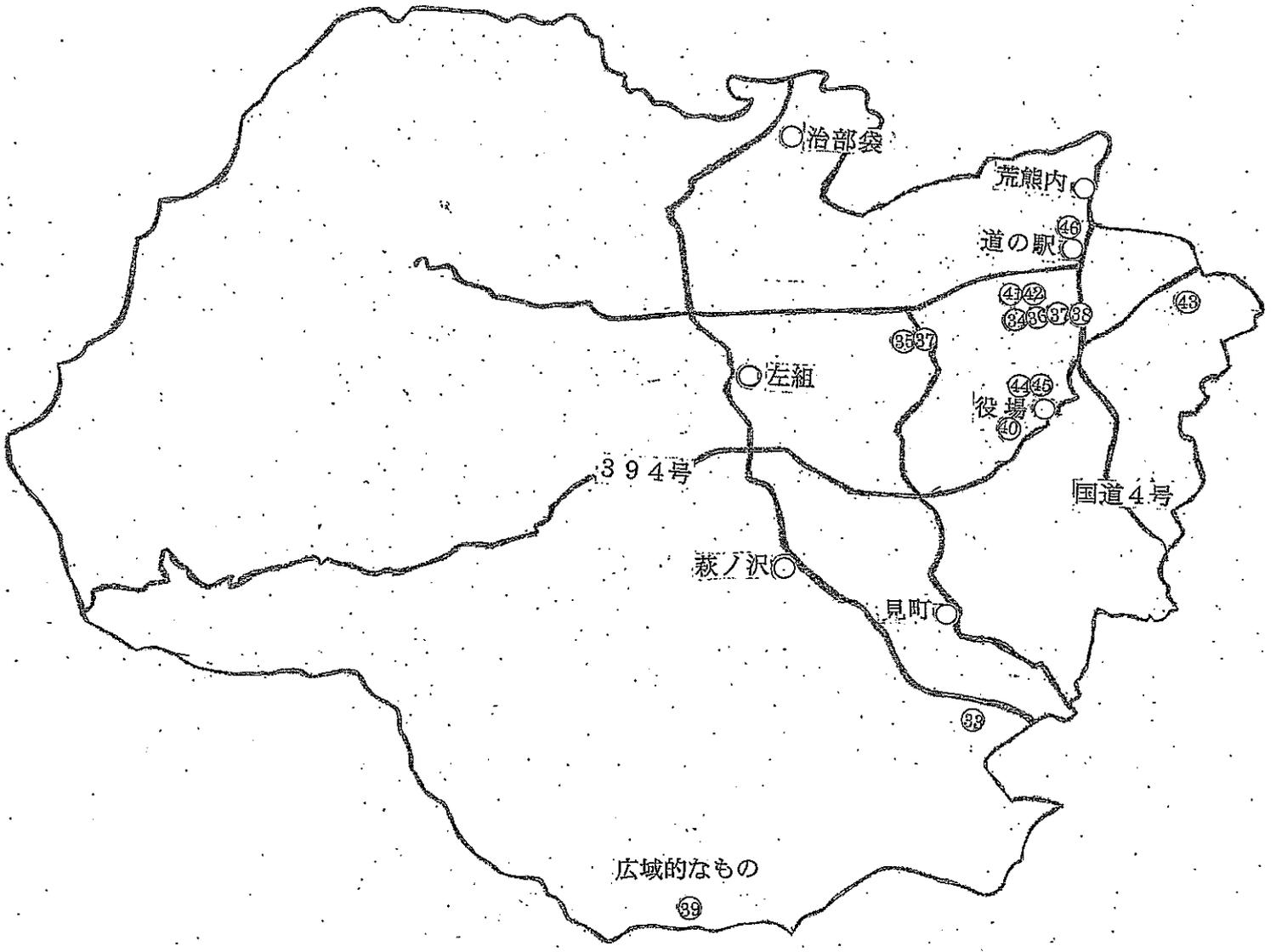


Ⅱ. 振興事業説明図  
(4. 経営近代化施策)



II. 振興事業説明図

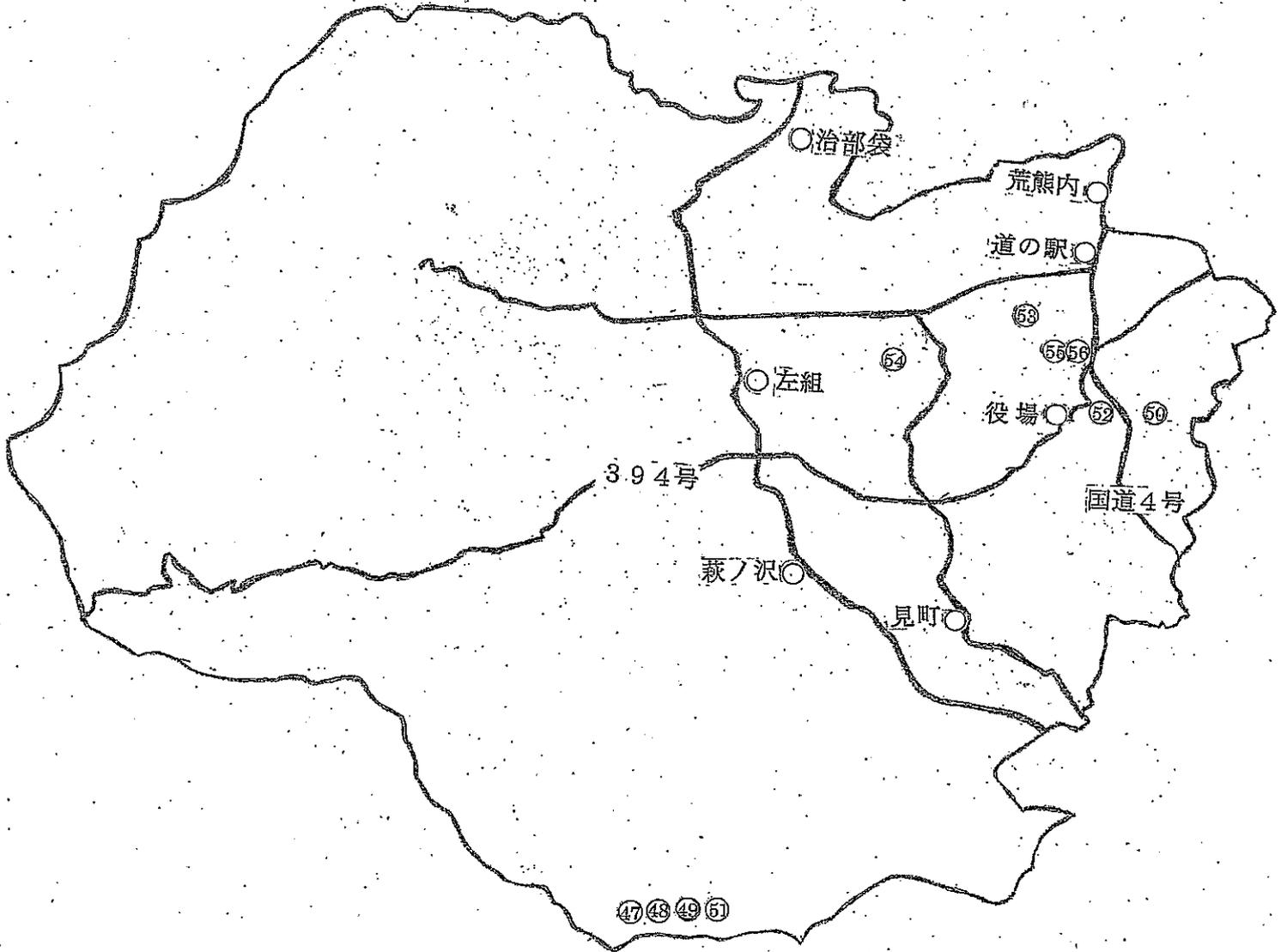
(5. 文教施策)



## II. 振興事業説明図

(6. 社会、生活環境施策)

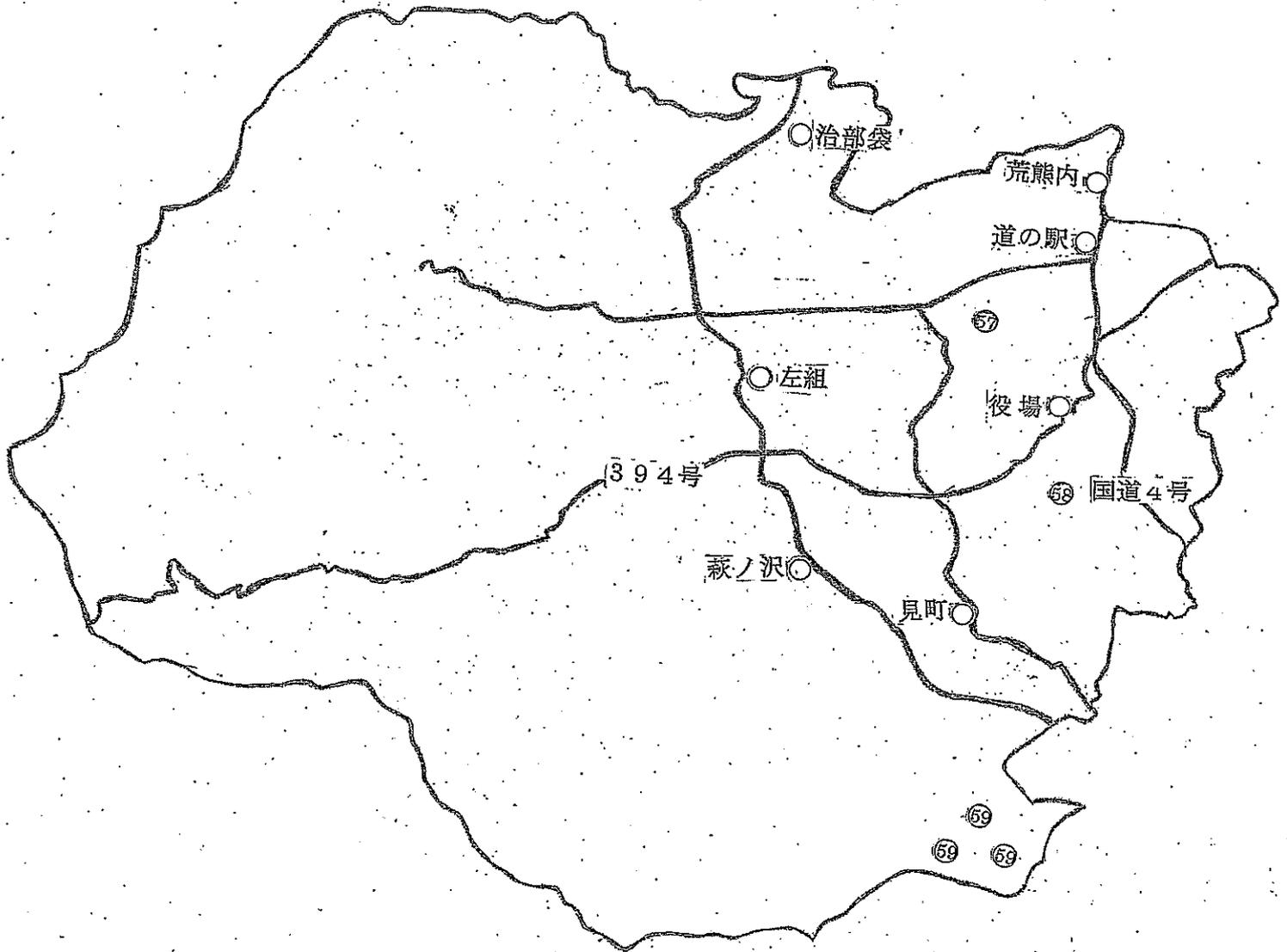
4



## II. 振興事業説明図

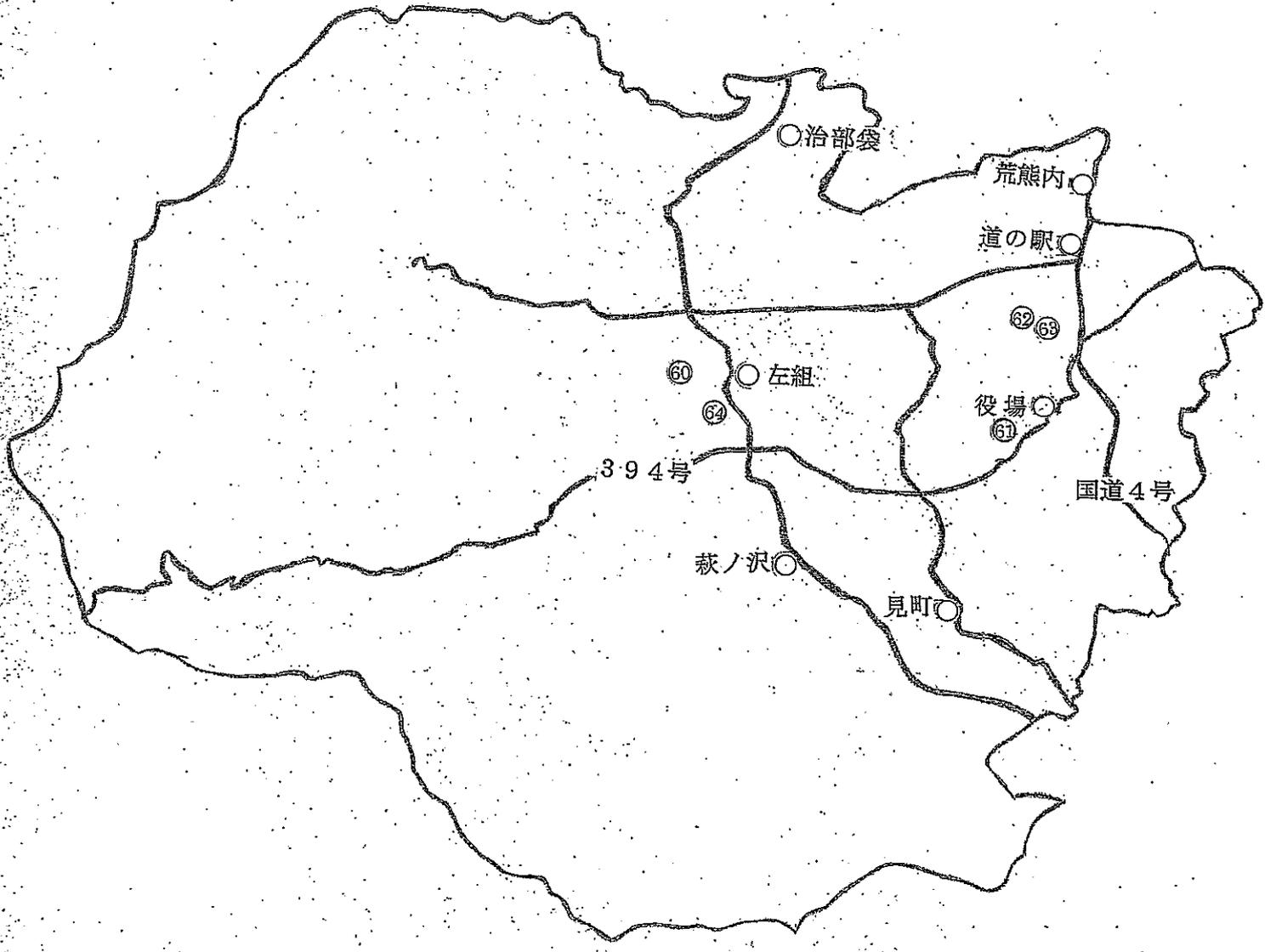
### (8. 国土保全施策)

4  
+

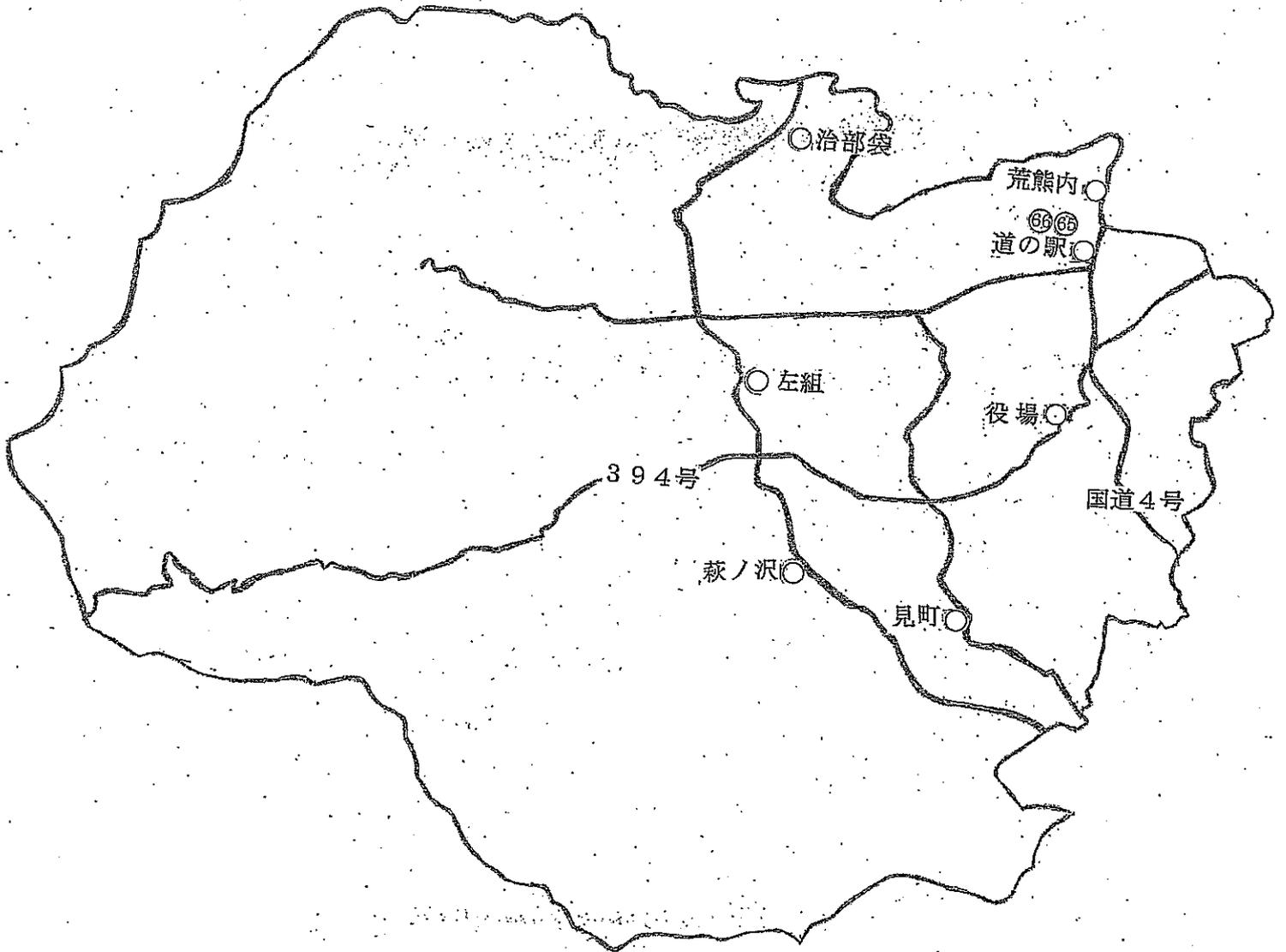


Ⅱ. 振興事業説明図  
(9. 交流施策)

4  
↑



II. 振興事業説明図  
(13. その他施策)



参 考 資 料

都道府県名	市町村名	作成年度 (変更年度)
青森県	七戸町	平成17年度 (平成21年度)
振興山村名	七戸町	
指定番号	第946号	

I. 計画変更に係る事業の概算事業量等

変 更 後					変 更 前					
施策区分	事業名 (施設名)	概算事業量	概算事業費 (千円)	備考	施策区分	事業名 (施設名)	概算事業量	概算事業費 (千円)	備考	
4. 経営近代化 施策	㉔あおり施設農業拡大対策事業 (パイプハウス導入整備)		15,000	実施中	4. 経営近代 化施策	㉔あおり施設農業拡大対策事業 (パイプハウス導入整備)		15,000	実施中	
	㉕農業施設整備事業 (育苗ハウス整備)		5,000			㉕農業施設整備事業 (育苗ハウス整備)		5,000		
	㉖肥育製造施設整備事業		12,500			㉖肥育製造施設整備事業		12,500		
	㉗競争力強化生産総合対策事業 (果菜選果機整備)		100,000			㉗競争力強化生産総合対策事業 (果菜選果機整備)		100,000		
	㉘優良繁殖牛導入促進事業		10,000	実施中		㉘優良繁殖牛導入促進事業		10,000	実施中	
	㉙あおり園芸特産産地育成強化事業 (長芋催芽機整備)		1,950	実施中		㉙あおり園芸特産産地育成強化事業 (長芋催芽機整備)		1,950	実施中	
	㉚農業生産総合対策事業 (産業用無人ヘリコプター整備)		13,000			㉚農業生産総合対策事業 (産業用無人ヘリコプター整備)		13,000		
	㉛農山漁村活性化プロジェクト支援交 付金事業 (地域資産活用交流促進施設)	農林水産物直売・食 材提供供給施設1 棟、施設PR活動)		321,005						
	小 計			478,455			小 計			157,450